

\*\*\*\*\*

第 118 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXVIII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

\*\*\*\*\*

日時：2018 年 6 月 10 日（日） 10:30 - 12:30

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1407 教室

担当者：柳田玲奈

「講読：*La nueva gramática básica de la lengua española* 第 3 章『統語論』 3a 単純な統語構造 第 23 節『能動文、受動文、無人称文、中間構文』 pp.221-227」

\* Fecha y hora: domingo, 10 de junio de 2018, de 10:30 a 12:30

\* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1407

\* Encargada: Reina YANAGIDA

\* Lectura de la “*Nueva gramática básica de la lengua española*: Apartado 23 “Oraciones activas, pasivas, impersonales y medias””

\*\*\*\*\*

担当者含め 10 名の参加者があり、当該章で述べられている内容を全員で読み解きながら、特に担当者が関心を持っていた以下の点について簡単に意見交換した。

- ①どこまで詳細に授業で扱うか。
- ②再帰受動文と se を伴う無人称文はどう区別するのか。
- ③“El español se habla en muchos países”と“En España se hablan varias lenguas”

①について。

参加者間で基本的に大きな見解の相違はなかったようだ。ただ、使用する教科書にもよるが、説明しにくい例文が散見されるので困るという意見も挙がった。これは結局②と③に通じる。

②について。

再帰受動文は、もともと能動態であったときに直接目的語であった要素が人でなくモノなどで、それを主語として受動文に変えたもの。

一方、se 無人称文は、もともと能動文であったときに直接目的語であった要素が人であり、それを主語にして再帰受動文にはできないため、直接目的語のまま維持して se 無人称文としたもの。

③について。

上記より、“El español se habla en muchos países”と“En España se hablan varias lenguas”はどちらももともとの能動文の状態直接目的語であった要素が el español と varias lenguas で、人ではないため、再帰受動文が望ましい。

例えば“En España se habla varias lenguas”のように varias lenguas を直接目的語とした se 無人称文は避けられるということ。

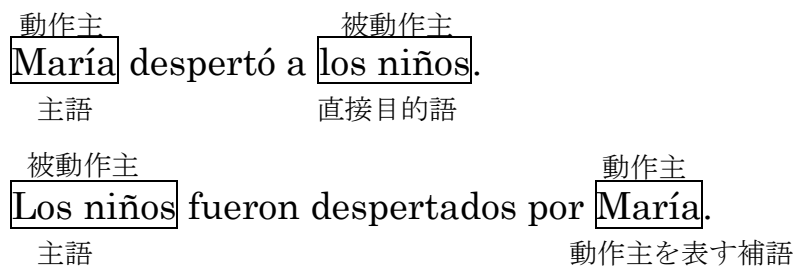
ただし、“Se habla español en muchos países.”などという文を提示された場合、español は hablar の主

語であり当該文は再帰受動文であるとも言えそうだし、español は hablar の直接目的語であり当該文は se 無人称文であると言うこともできそうである。このあたりが特に初級学習者を混乱させやすい点であろうと考える。

以下、当日配布したレジユメに加筆する形で内容をまとめる。

なお、各例文の日本語訳は担当者による。

## 1. 能動文と受動文



La muchacha padecía una extraña enfermedad. (その女の子は珍しい病気にかかっていた。)

↑主語が動作主というわけではないけど、伝統的には能動態

## 2. 迂言法による受動文

ser + 他動詞の過去分詞 (主語に性数一致)

Las propuestas serán estudiadas. (提案は検討されるだろう。)

自動詞で受動文は作れない。←第二外の授業ではここまで詳細に扱わない

状態・属性を表すような他動詞も、あまり受動文にしない。

\*Una casa linda es tenida (por Pablo). (ある素敵な家が (パブロによって) 所有されている。)

例外 : La obra era conocida por todos. (その作品はみんなに知られていた。)

動作主を表す要素にはたいてい por がつくが、ある種の過去分詞には por も de もつく。

|          |          |         |             |
|----------|----------|---------|-------------|
| conocido | de todos | rodeada | de montañas |
| por      |          | por     |             |

どのような過去分詞に de が使われるかはっきりしないが、  
参加者からは、教科書でよく扱われる表現として cubierto de nieve など挙げた

### 3. 非対格動詞

存在、出現、出来事を表すような自動詞。他動詞寄りの特性を持つ。

caer, entrar, llegar, morir, nacer

過去分詞で絶対構文(分詞構文)が作れる。 Desaparecido el problema, todo volvió a la normalidad.

(問題がなくなってすべてが普通に戻った。)

名詞を修飾できる。 los niños nacidos el año pasado (去年生まれた子どもたち)

副詞 recién と共起できる recién llegados (さっき着いたばかり)

つまり、受身になれないのは一部の自動詞のみ

### 4. 再帰でない無人称文

伝統的に主語のない文を無人称文と呼ぶ。

- 「語彙的無人称動詞 verbos impersonales léxicos」：主語が絶対につかない

Nieva. (雪が降る) Ya es de día. (もう昼だ) Habrá buena cosecha. (豊作になるだろう)

- その他の動詞：主語はたいてい人だが不特定

Se duerme mejor en primavera. (春は比較的よく眠れる)

Dicen que vuelve el buen tiempo. (またいい天気に戻ってくるらしい)

Si vas con prisas, nunca resuelves nada. (急いだら決して何も解決できないよ)

気候を表す動詞は、典型的な「語彙的無人称動詞」。 3人称単数形で用いられ、主語をとらない。

ただし比喩的な意味で人称形が使われることもある。←第二外の授業ではここまで詳細に扱わない

Le llovieron las críticas. (彼には山のような批判が浴びせられた)

Amanecí con dolor de cabeza. (私は朝起きると頭が痛かった)

#### Haber の無人称文

他動詞であり、3人称単数で用いられる。 (=語彙的無人称動詞) 直接目的語と性数一致はない。

No hay posibilidades. (可能性はない)

一部地域で、数一致や人称一致がある。←第二外の授業ではここまで詳細に扱わない

Habían suficientes pruebas. (十分な証拠があった) Hubieron dificultades. (困難があった)

Habemos algunos que no queremos. (我々の中には希望しない人もいる)

#### Hacer, ser, estar の無人称文

天気、時系列を表す。 (=語彙的無人称動詞)

Hace sol. Hace años. Todavía era de noche.

estar の例文が掲載されていなかった。

参加者から Estar nublado. Estar despejado.などの例文が挙がった。

時刻の表現では無人称ではなく数一致の方が望ましい。Ya son las siete; Ya es la una.  
ただし一般的な¿Qué hora es?に対して、¿Qué horas son?を会話表現で使う地域もある。

#### その他の無人称文 (すべて 3 人称単数)

dar : Le dio por hacerse titiritero. (彼は曲芸師になりたくなった)

ir : <irle a alguien + 方法を表す補語> ¿Cómo le va? – Me va bien.

apestar, oler... : Aquí huele a rancio. (ここは臭い)

doler, escocer, picar + 場所を表す語 : Me duele aquí. (ここが痛い) ←この例文において aquí は主語ではない

bastar, pesar, tratarse 等 + 前置詞補語 : Me basta con su palabra. (あなたの言葉で十分です)

ただしこれらの動詞は主語をとる構文も作れる。

Tu cuarto apesta a tabaco. (君の部屋はタバコ臭い) Me duele la cabeza. (頭が痛い)

Me pesa no haberte hecho caso. (君に耳をかさなかったことを僕は後悔している)

不特定の解釈になる主語なし文

- 3 人称複数形 : Lllaman a la puerta. (誰かがドアをノックしている) ←能動文だが不特定解釈
- 1 人称複数形 : En México cenamos más tarde que en muchos países. (メキシコでは他の多くの国々より遅い時間に夕食をとる)
- 2 人称単数形 : Si quieres vivir bien, debes tener dinero. (いい暮らしがしたければ、お金がなければいけない)

#### 5. se を伴う無人称文、つまり再帰無人称文

##### a) 人称に合わせて変化する se (無人称ではない) (=再帰動詞)

再帰構造 : Se conoce poco a sí mismo. (自分自身のことはほとんど知らない) cf. **Tú te conoces poco a ti mismo. se** は「自分自身を」にあたる直接目的語

相互構造 : Se aman los unos a los otros. (互いに愛し合っている) cf. **Vosotros os amáis los unos a los otros. se** は「お互いを」にあたる直接目的語

代名動詞 : Ella se divierte. (彼女は楽しむ) cf. **Yo me divierto. se** は「自分自身を」にあたる直接目的語

##### b) 変化しない se (se に統語的機能はない = 目的語などではない)

**再帰無人称文** : Se vive bien siendo estudiante. (学生であっても良い暮らしをする)

再帰受動文 : Las noticias se recibieron ayer. (その知らせは昨日受け取られた)

再帰無人称文

Se + 動詞 3 人称単数形 (他動詞も自動詞も可)

Se honra a los héroes. (英雄は称えられるものだ)

Allí se discutía de casi todo. (あそこではほぼすべてのことについて議論されていた)

## 6. 再帰受動文

- Se + 動詞 (被動作主である主語と数・人称一致)
- 主語は名詞句、名詞節
- 動詞迂言法においては、se は助動詞の前でも主動詞の後でも可

動作主はあまり示されないものだが、法律や行政の文体では頻繁に見られる。

La ley se aprobará por el Senado. (法律は上院によって可決されるだろう)

(動作主を示す場合は) 能動態か迂言法による受動文 (ser / estar + 過去分詞) が望ましい。

se が他動詞と共起する場合

- ・再帰受動文 (直接目的語は前置詞を伴わず、主語になる)

Se curan las heridas.① ← Alguien cura las heridas.② (傷が治る←誰かが傷を治す)

- ・se を伴う無人称文 (直接目的語が前置詞を伴い、直接目的語であり続ける)

Se cura a los heridos.③ ← Alguien cura a los heridos.④ (けが人が治る←誰かがけが人を治療する)

②において las heridas は curar の直接目的語「傷を」であった。それを主語にして「傷が治される」の受動文としたのが①。

一方、④において los heridos は同じく curar の直接目的語「けが人を」であったが、それは直接目的語のまま、かつ、誰が治療するのかを明示せず無人称文としたのが③。この③と④において前置詞 a を伴っているのは、直接目的語 los heridos が人だから。

つまり、もともとの直接目的語が人ではない (モノなどである) 場合、それを主語とした①再帰受動文が望ましく、もともとの直接目的語が人である場合、それを直接目的語とした③se 無人称文が望ましい?

↓下の文面とも符合する。

モノが主語の場合、再帰受動文の方が望ましい。特に広告などで無人称文が使われるが、勧められない。

Se alquila habitaciones. → Se alquilan habitaciones.

Se da clases de inglés. → Se dan clases de inglés.

自動詞の場合は、無人称文のみ可。 (もともと能動態で直接目的語になる要素がないため、それを主語にした再帰受動文を作れない)

En verano se duerme mal. (夏はよく眠れない)

Aquí no se habla de política. (ここで政治の話はしない)

## 7. 中間構文 Construcciones medias

状態の変化や主語の経る過程を表す自動詞文で、主語はそれをコントロールできない。

| 能動  | 受動   | 中間                                   |
|---|--|--------------------------------------|
| Ana hirvió la leche<br>アナは牛乳を沸かした         | La leche fue hervida<br>Se hirvió la leche             | La leche hirvió<br>牛乳が沸いた            |
| Ana despierta a los niños<br>アナは子どもたちを起こす | Los niños son despertados<br>Se despierta a los niños① | Los niños se despiertan<br>子どもたちが起きる |
| Ana cura a los enfermos<br>アナは病人を治す       | Los enfermos son curados<br>Se cura a los enfermos②    | Los enfermos se curan<br>病人が治る       |

↑ ①と②は再帰無人称ではないのか??

代名動詞 verbos pronominales : 再帰代名詞と一緒に活用して用いる動詞

- ・必ず代名詞を伴う : abalanzarse, abstenerse, arrepentirse 等
- ・代名詞があってもなくてもほぼ同じ意味で使われる :

decidir / decidirse, esconder / esconderse, olvidar / olvidarse, lamentar / lamentarse 等